

奄美群島の宝を次世代につなぐ助成事業（世界自然遺産基金活用事業） 概要

基金概要

名称：世界自然遺産基金

目的：世界自然遺産登録地及び奄美群島国立公園の自然環境の保全と郷土教育（歴史・文化）に関する活用の推進に資する事業を実施する。（奄美群島広域事務組合世界自然遺産基金条例 平成27年3月設置、令和3年7月名称改正）

寄付額

令和7年3月末時点 寄附金総額：17,339,315円（内訳：団体76件、個人3件）

活用事業

◎子ども達の環境学習活動、環境保全活動、郷土教育に関する活動に係る助成制度の創設

- 【目的】 奄美群島の自然環境に関する環境学習活動や保全活動、歴史・文化を学ぶことにより子どもたちの意識向上を図る。
- ・環境学習活動や保護活動、普及啓発に関する取組
 - ・外来種駆除やビーチクリーンなどの住民参加型保全活動の推進
 - ・世代を超えて文化を継承、創造していくための活動や団体等の支援
 - ・自然環境や文化の大切さを学ぶための出前授業や体験活動
 - ・自然環境と文化を継承し、活用していくための幅広い世代を対象とした教育環境の整備や学習活動への支援
- 【対象団体】 奄美群島内に住所を有する民間団体（PTA、こども会、NPO法人、その他任意団体）
- 【対象経費】 活動に必要な経費（例：消耗品費、種苗代、講師招聘旅費、謝礼金、保険料等）
- 【支援額】 支援上限額：300千円（助成割合：10/10）
- 【その他】
- ・1団体につき申請は、年度1回までとする。
 - ・子どもが主たる参加者であるが、保護者等大人が参加することを妨げるものではない。

主な変更点（R7拡充内容）

◎ 奄美群島の宝を次世代につなぐ助成事業（拡充概要）

変更項目	変更前	変更後
対 象 分 野	・つなぐ宝（自然環境） ・つなぐ宝（文化） ・つなぐ宝（教育）	・つなぐ宝（自然環境） ・つなぐ宝（文化） ・つなぐ宝（教育）
対 象 事 業 者	・奄美群島内に住所を有する民間団体等（P T A、こども会、N P O 法人、その他任意団体）	・奄美群島内に住所を有する民間団体等（P T A、こども会、N P O 法人、その他任意団体）
対 象 事 業	・環境学習活動に対する事業（勉強会、フィールドワーク） ・環境保全活動に対する事業（外来種駆除活動、清掃活動、植栽活動） ・奄美群島の子ども達が 参加する郷土教育に対する助成事業（郷土教育活動）	・環境学習活動に対する事業（勉強会、フィールドワーク） ・環境保全活動に対する事業（外来種駆除活動、清掃活動、植栽活動） ・奄美群島の子ども達が 参加する郷土教育に対する助成事業（郷土教育活動）
対 象 経 費	・謝金、講師旅費、消耗品費、燃料費、印刷製本費 処分手数料、通信運搬費、広告料、借上料、種苗代 保険料、食糧費	・以下の経費を追加 ①清掃活動前後の飲料 ②キャンセル料 ・謝金上限（1人当たりの上限額）の改正など （改正前）1事業当たり40,000円 （改正後）1日当たり40,000円
支 援 額	・支援上限額：200千円	・支援上限額：300千円
交 付 方 法	・精算払いのみ	・原則、精算払いだが、管理者が必要と認める場合は全体事業費の8割まで概算払いが可能。